

# 長野スクールデザイン（NSD）実施事業

高校教育課  
高校再編推進室  
特別支援教育課

## 1 事業目的

これからの施設整備には、学校が児童生徒にとってより利用しやすく、学習内容や社会構造等の変化に対応できることが必要となる。このため、高度経済成長期の考え方を背景とする整備プロセスを見直し、新しい時代の学校に求められる機能や多様性等を反映した施設整備を行う。

## 2 事業内容

### （1）基本計画の策定

再編新校のうち、新たな学校づくりが進んでいる新校や議会同意に向け地域での議論を進めている新校、学科転換を行う学校や、老朽化が著しい特別支援学校について、様々な関係者の意見を取り入れ、十分な機能を備えた施設となるよう、「設計」「工事」を進める上で重要な過程となる施設整備の骨格を決める基本計画の検討・策定を実施する。

### （2）学習空間デザインやコスト管理のための外部有識者の活用

学習空間デザインやZEB化への対応など、従来にはない様々な要素を反映した整備を行う上で、求められる整備内容と最適なコスト管理を追求するため、専門的知見を有する外部有識者をアドバイザーとして活用する。

## 3 対象校

### [継続分]

小諸新校、伊那新校、松本養護学校、若槻養護学校

### [新規分]

佐久新校、赤穂総合学科新校

- 4 令和5年度予算額 4,411万9千円  
(県立高校 3,429万7千円、特別支援学校 982万2千円)